

【はじめに】

この度は2度目の2次試験受験で無事合格をさせて頂くことが出来ました。本当に今でも信じられません。MMC講師陣の皆様の「わかりやすい講義」や「答練ごとのアドバイス答案での、的確なご指摘、温かいお声がけ」が無ければ、私はいつまでたっても「間違っただけ思考パターンに陥り」合格出来ていなかったと思います。今後の受講生の皆様にも私の合格体験記をお伝え出来ればと思います。

【受験経歴】

- ・2021年 1次試験 (2日目のみ受験) 全科目不合格 (大手予備校テキスト・問題集・スマホ通信教育)
- ・2022年 1次試験 合格 (スマホ通信教育)
- ・2022年 2次試験 不合格 188点 (50点 44点 54点 40点) (独学: 某教材)
- ・2023年 2次試験 合格 245点 (57点、52点、80点、56点) (MMC受講)

【MMCを選んだ理由】

1回目の2次試験受験は解く事例数を重視し、毎日1事例を自分に課していました。朝に設問解釈だけ行い、昼休みに骨子作成のみ行い、帰宅後に解答作成し、某教材で添削するという流れです。10月入り、2次対策を確認し、某教材の点数で70~80点が取れて (この時は私の採点基準が的外れなのに気づいていない・・・(泣)、今見返すとひどい答案です・・・(笑)) ここまでやったから大丈夫だと思ってました。

数日後の得点開示を見ると、なんと188点・・・。「あんなに勉強したのに・・・」「自分の勉強方法が間違っていたんだ・・・」と、なまじ沢山の時間を勉強していたので、ショックを隠せなかったです。

試験結果を見て、私の間違いが2つあると気付きました。

1つ目は、「(我流で) ひらすら事例を解く事が、合格の近道だと思った事」です。今思い返すと、解く事例数は少なくても良いが、じっくり復習をして「解答を導く思考プロセスを磨く事が一番大切な事」に気付けなかった事です。(あの当時、1回でも人に添削を受けて貰っていたら少しは気付けたのに・・・)

2つ目の間違いは、「模試を受けなかった事」です。1回でも模試を受けていれば、当日の時間配分や対応方法が分かり、成績 (多分出来ていないので・・・)、自分の客観的立ち位置・問題点が分かり、1回目の2次試験の勉強法等も変わっていたと思います。

2次受験は、自分の思考プロセスがおかしいと思い、自分自身は思考パターンが凝り固まっていると思ったので、「他の人に見て貰おう」「他の人に採点して貰おう」と考えました。

4月から2次試験の学習を決めていて、1月から「受験生コミュニティ」の「採点サービス等」の研究を始めました。「答練の添削が多い予備校」も調査する為、大手予備校から2次専門予備校の5~6社程は問合せをしました。多くは4月講座申込だと遅いと言われ、他の4月で可能な予備校は、「添削の回数や質」が不足しており、MMCでは「中期の講座から受講して貰えば大丈夫ですよ!」と言って貰った事や、「過去の実績」「答練の回数や質」が充実している事を踏まえ、MMCで受講する事を決めました。

【MMCを受講して良かった点】

《「キーワードマトリックス」「解答の型」で解答を作る事》

講師の先生方から「与件文は読んでもあんな短時間では分からない、与件文をまともに読んで回答をしたら 80 分以内に終わらい」「だから、どんな設問でも、キーワードマトリクスと、解答の型さえ覚えておいて、当てはめれば良い、事例文が違ってても“書くことは同じ”なんです。」という言葉聞いて衝撃を受けました。

徳川先生から「60 点少し超える答案で良いんですよ。そんなに無理して高得点を狙わなくても良い」「いつもでも同じ答案が書けるようになって 60 点を少し超える答案が書ければ良いんですよ」と聞いて、診断士試験の心構えが変わり、心持が楽になりました。

《中小企業診断士を受ける際の心構え》

さらに、徳川先生から「皆さんは診断士試験に受かりたいんですよ！受かる事を考えて下さい！自分が受かるんだ！この気持ちが大切なんです」「200 点と 240 点は違うと思ってると思うけど、私からしたらそんなに変わらない。紙一重です。皆受かる力があるんです。」など精神面でもかなり助けて頂きました。実際に年に 1 度の試験で、初回の事例文、しかも答えが無い試験、当日の心持ちで動揺してしまうと合格レベルの方が合格出来ない。徳川先生をはじめ講師の先生のアーカイブ動画を見るのが励みになっていました。

《答練の復習の大切さ》

講師の先生方から「答練を解いた後に、別のノートを用意して『解答の型』『キーワードマトリックス』を用いて「模範解答」を書き直す事が大切なんだ」と教わりました。初めは、その意味が全然分からなかったのですが、教わった通りノートに「復習」する事を習慣化しました。

初めは、なかなか復習で文章がかけないです（笑）。でも、少し時間がかかりますが、何回も何回も復習することで、「解答の型」「キーワードマトリックス」が使いこなせるようになってきます。この練習を繰り返してきたから、「事例文と設問文を読めば、だいたいこういう書き方になるな！」と想像出来るようになった事が合格の秘訣だと思います。

《アドバイス答案での、講師直接の個別アドバイス》

私が MMC で一番良かった事は、「アドバイス答案（講師と直接 Zoom 面談）」です。答練を提出して 1 週間頃に添削が来ます（添削を見るだけでもかなり気付きが多いのです）。そして、次回の講義の前か後に「アドバイス答案」をして頂けるのですが、どんな事情があってもアドバイス答案だけは 1 回も欠かさずやりました。講義には参加出来なくても、アドバイス答案だけは必ず受けました。

講師からは「1 問ずつの好評を頂き、注意点と、こう改善すれば点数が上がるというお話や、励ましのお声」を頂きました。私からも講師に「添削内容で分からない事や、何故こういう解答の型になっているのか？、なぜ点数が低いのか？その理由は？（多くは、制約条件を無視してる、設問要求にできていない等が多かったです）」という事を聞いたり、また「復習の仕方分からない事があるので教えて下さい、今後の勉強方法はこれで良いですか？」等質問をさせて頂きました。

このアドバイス答案で「自分特有の思考パターン間違い・思い込み・癖」に気付かせて頂きました。例えば、「環境分析の設問の場合はこう答えます、課題を聞かれた時はこう答えます、という解答の型のパターン」、「人事の事を聞かれれば、こういうキーワードを使います、プロモーションと聞かれたら、こういうキーワードを使います」という事や、「この設問文に、金銭的なインセンティブは駄目と記載しているから、制約条件に引っかかっているから点数が低いです。」等、具体的なアドバイスで、「自分の思考の癖・思い込み」をかなり矯正して頂きました。

この「アドバイス答案」をしていなかったら、答練を添削して頂いても、私が添削を間違っただけで解釈しているので、いつまで経っても「設問解釈」「解答の型」「キーワードマトリックス」が使いこなせてなく、合格は出来ていないと思います。

今後 MMC を受講する受講生の方々はこの「アドバイス答案」は MMC の強みだと思しますので、ぜひ活用して頂ければと思います。

【おわりに】

2023 年度は MMC に巡り合えてさまざまな事を気づかせて頂き、本当に良かったなと思っています。本試験の時も「いつもの MMC の指導の通り」、「解答の型、マトリックスで、どんな事例文でもいつもと同じ解答を組み立てて作成する」という流れで進めました。実は、この考えがあるから「本試験も実は事例文をきちんと読まなかった（読めなかったの方が正しいです・・・(笑))」。ファイナルペーパーに「事例文は読まない！」って言い聞かせてました（笑）（事例文に引き込まれて時間が掛かるので・・・）

本試験でも設問文を見て、「解答の型とキーワード」を想像して（訓練しているから出来るようになりました）、事例が変わっても、「毎回書く事は決まっている」ので、「事例文から解答に引用する文章を探してくるだけ（マーカーを引くだけ。言い聞かせています（笑))」です。「点数も 60 点少し超えるぐらいで良い」ので、高度な解答は作らず「80 分間で仕上げるために、無難な解答（もっと良い解答を作れるだろうなと頭をよぎったが、それ以上考えずに“これで良い！”と割り切った。）」で納めました。

口述試験対策で試験 2 ヶ月ぶりに、久々に事例文をきちんと読んでいたのですが、

「全然内容が読み込めていなく、理解出来ていなかったとゾッとしました。“本試験の時は事例の内容を実は分かっていたんだな、こんな状況でよく合格してたな・・・”と一人で苦笑いしていました（笑）

そして、日頃の事例 I～III の復習は毎日 1 問（20 分以内・時間があれば 3～4 問解く）、事例 IV も毎日 1 問（20 分以内）の復習がルーティンで訓練はし続けたので（講師の先生方からスポーツと同じで、2 次試験は毎日訓練しないと鈍ると言われていました）、本番は、「いつも通りの事をする」（こちらも言い聞かせていました（笑））という感じで、進められたのも精神的にも良かったです。

長々となりましたが、

実は、まだ本当にどうして合格したのか今でもまだ不思議な気持ちです。

本当に MMC の皆様のご指導のおかげで、せっかく頂いたこのチャンスを生かしていこうと思います。

MMC の講師陣の皆様、2023 年度は 2 次試験合格のサポートをして頂き、本当に有難うございました。